

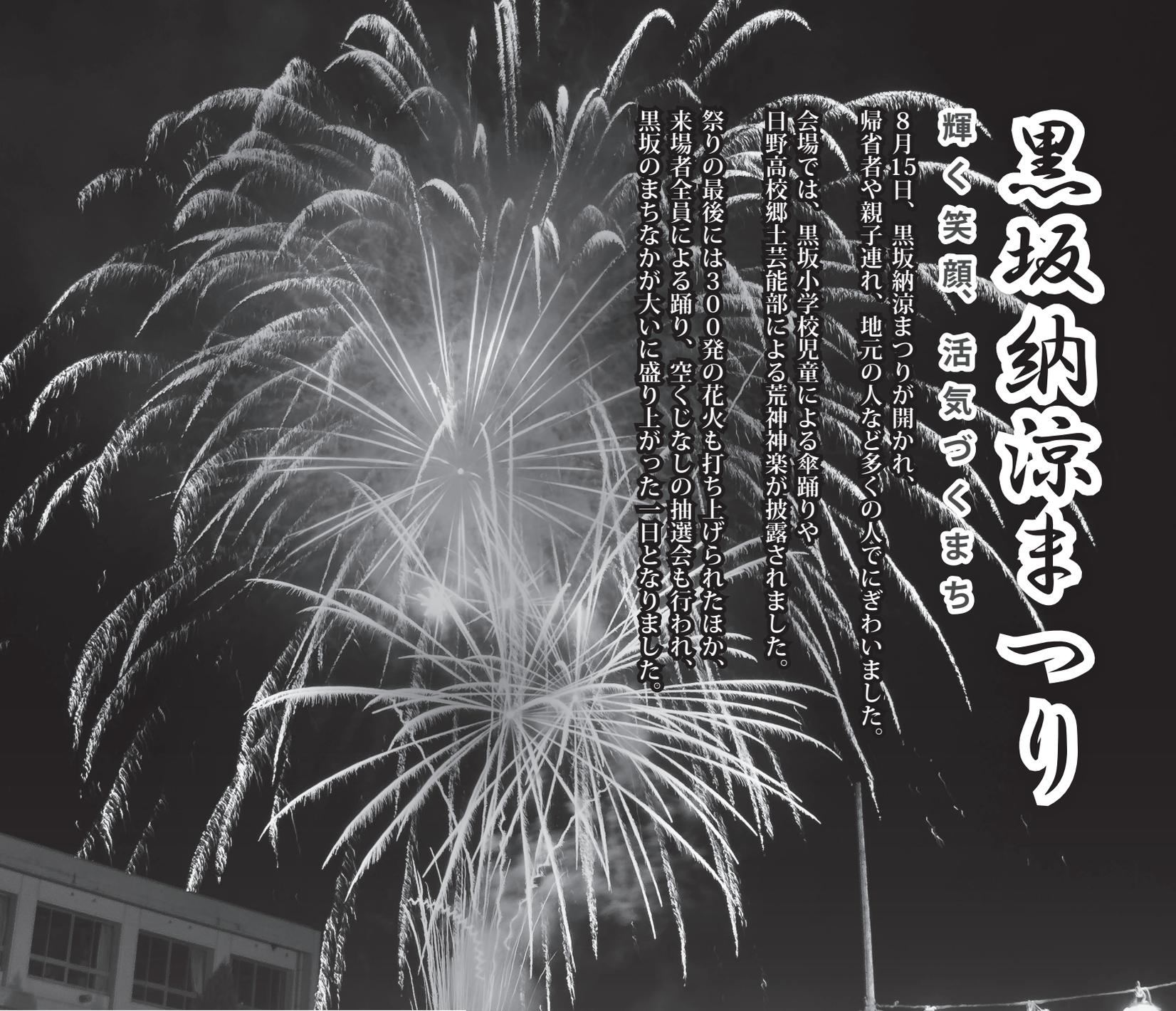
# 黒坂納涼まつり

輝く笑顔、活気づくまち

8月15日、黒坂納涼まつりが開かれ、帰省者や親子連れ、地元の人など多くの人でにぎわいました。

会場では、黒坂小学校児童による傘踊りや、日野高校郷土芸能部による荒神神楽が披露されました。

祭りの最後には300発の花火も打ち上げられたほか、来場者全員による踊り、空くじなしの抽選会も行われ、黒坂のまちなかが大いに盛り上がった一日となりました。



わくわくドキドキの景品抽選会



かわいらしい傘踊りで会場は笑顔に



300人を超える人が参加して日野町音頭をにぎやかに踊る



日野高校郷土芸能部による荒神神楽



絢爛豪華な神話の世界を演じる



燈籠まつりと盆夜市  
燈籠の灯りが根雨のまちをやさしく照らす



地元のバンドによる演奏が会場を盛り上げる

8月13日から15日までの3日間、燈籠まつりが開かれ、約260灯の手作り燈籠が根雨のまちなかを幻想的に照らし出しました。

また、14日には、山陰合同銀行横で恒例のふれあい盆夜市が開かれ、焼きそばや焼き鳥、かき氷などの屋台やセルプひのによるバザーなどの催しも行われ、帰省者など多くの人でにぎわいました。

祭りの最後には豪華景品が当たる抽選会も行われ、燈籠のやさしい灯りが照らす中、会場は笑顔と歓声が響いていました。

戦後70年よみがえる当時の日本の姿

町歴史民俗資料館特別展



豊富な資料に感心しながら見入る

8月14日から16日までの3日間、町歴史民俗資料館で特別展（町歴史民俗資料館友の会ほか主催）が開かれ、帰省者など多くの人が訪れました。

今回は、「戦後70年 収蔵品に見る戦時の暮らし」と題し、資料館が所蔵する戦時中の新聞・雑誌・写真のほか、日用品、軍服など、当時の生活にかかわるものなどが多数展示されました。そのほか、当時の歌謡曲や軍歌などが聞けるSPレコード鑑賞コーナーも設けられ、来場者は当時をしのびながら真剣に見入っていました。

地域への“ありがとう”の気持ちを込めて  
セルプひの夏まつり



会話や食事を楽しむ来場者

地域の人への日ごろの感謝の気持ちを込めた、恒例のセルプひの（社会福祉法人祥和会）夏まつりが、8月12日、同施設前駐車場で開催されました。

会場では、同施設のスタッフによる焼きそばやフランクフルト、かき氷などの屋台が並んだほか、木工・手芸教室、バザーなども開かれ、訪れた人との交流を図っていました。

また、舟場昭和会の皆さんが銭太鼓の演奏を披露、日野高生徒による「日野高ショッピング」も同時開催され、たくさんの人出でにぎわいました。

広がる星空、夢中で星を追いかける

星空観望会



どんな星が見えるかな？

ひの郷会会員による自作の天体望遠鏡を使った星空観望会が、8月10日、役場前駐車場で開催されました。

会場には、家族連れなどおよそ20人が訪れ、天体望遠鏡をのぞき込み星空を見上げ観察を楽しみました。

始めは曇り空が広がっていたものの、辺りが暗くなったところには、星がきらめく夜空が広がり、土星の輪や夏の大三角、夏の星座などが見えると、子どもたちは歓声を上げながら夢中で望遠鏡をのぞき込んでいました。